



Release

フランクフルト・アム・マイン

2023 年 6 月 20 日

カール・フォン・ローア、2023 年 7 月 1 日付で取締役会の責任を委譲

ドイツ銀行のプレジデントであるカール・フォン・ローアは、7 月 1 日付で彼の責任を後任者へ引き継ぎます。これは、取締役会メンバーによる綿密な引継ぎおよび新しいリーダーシップ・ストラクチャーの準備が非常に順調に進んでいることによるものです。

これによりクラウディオ・デ・サンクティスは、7 月 1 日付でプライベート・バンクの責任を引き継ぎ、取締役会メンバーに就任する予定です。アレクサンダー・フォン・ツァ・ミューレンは、従来のアジア太平洋地域の責任に加え、欧州、中東およびアフリカ (EMEA (英国およびアイルランドを除きます。)) ならびにドイツの責任者となります。チーフ・ファイナンシャル・オフィサーのジェームス・フォン・モルトケは、アセット・マネジメントの責任も担うこととなりますが、DWS グループからの発表によると、フォン・ローアの後任となる DWS 監査役会会長の選出は、別のプロセスで行われます。

4 月 26 日の取締役会の人事に関する監査役会の決議において、引継ぎが早まる可能性は既に見込まれていたため、早期に任務の明確化が図られています。

既に発表したとおり、フォン・ローアは、2023 年 10 月 31 日の契約期間満了まで取締役会メンバーとして職務を全うします。それまでの間、後任者に対して特に彼の顧客およびステークホルダーを中心とした助言および秩序ある引継ぎを行ってまいります。

ドイツ銀行について

ドイツ銀行は、個人顧客、中小企業、事業法人、各国政府および機関投資家に対し、リテール・バンキング、プライベート・バンキング、コーポレート・バンキング、トランザクション・バンキング、融資、資産運用の商品およびサービスならびに焦点を絞った投資銀行業務を提供しています。ドイツ銀行は、欧州に深く根ざしつつグローバル・ネットワークを有するドイツ有数の銀行です。

本リリースには、将来の事象に関する記述が含まれています。将来の事象に関する記述とは、歴史的事実ではない記述であり、ドイツ銀行の考えおよび予想ならびにその基礎となる前提が含まれます。これらの記述は、ドイツ銀行グループの経営陣が現在入手可能な予定、推定および計画に基づいています。したがって、将来の事象に関する記述は、あくまで当該記述がなされた日現在のものであって、当グループはこれらの記述に関して、新しい情報または将来生じた事象があっても、これを更新して公表する責任は負いません。

将来の事象に関する記述は、その性質上リスクおよび不確実性を含みます。したがって、いくつかの重要な要因が作用して、実際には将来の事象に関する記述に含まれるものとは大きく異なる結果となる可能性があります。

これらの要因には、ドイツ、ヨーロッパ、米国および当グループが収益の相当部分を上げ、資産の相当部分を有するその他の地域における金融市場の動向、資産価値の推移および市場のボラティリティ、借り手または取引相手による将来の債務不履行、当グループの経営戦略の実施、当グループのリスク・マネジメントの方針、手続および方法への信頼性ならびに米国証券取引委員会 (SEC) への情報開示に関連するリスク等が含まれます。

このような要因については、SEC に提出した当グループの 2023 年 3 月 17 日付年次報告書 (Form 20-F) の「リスク・ファクター」の表題のもとで詳しく記載されています。当該文書の写しは、請求により入手可能であり、また www.db.com/ir からダウンロードすることができます。